

県北支部便り

発行責任者 紺野芳男
発行者 事務局

平成30年8月25日(土)・26日(日)あじま総合体育館において開催されました。

『リレー・フォー・ライフ』

『ジャパン2018福島』

「リレー・フォー・ライフ」(命のリレー)はがん啓発とがん患者支援のためのチャリティーイベントです。サバイバー(がん患者)と家族の方々と共に語り歩み、またルミネリエを灯し慰霊するイベントです。今年も忙しい中、たくさんの方が参加していただきました。

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018福島」に参加してリレー・フォー・ライフとは1985年 アメリカ フロリダ州 タコマにて一人の医師ゴルディー・クラット(腫瘍外科医)がアメリカ対癌協会の寄付を募るため24時間走り続けることから始まったチャリティーイベントです。日本では2006年に茨城県にてスタートし福島では2010年より始まりました。

本年度は8月25、26日の両日あじま総合体育館にて開催され、県北支部から2日間合わせて延べ27名が参加させていただきました。

土曜日の準備からお手伝いいただいた方も昨年度より多く充実した2日間だったと思います。

日本人の二人に一人が癌に罹患し、三人に一人が癌で亡くなる現代において、亡くなった人を偲び、現在闘病中の方を讃えるというこの会の趣旨は尊いものと思います。今年はグリーンのTシャツを着てみんな歩き、例年のごとく組紐販売も行いました。

2018年の全体の対癌協会への寄付金は3054883円と報告されております。今年のノーベル医学・生理学賞はオブジーボに関する研究で京都大学本庶佑氏が受賞されました。少しでも抗がん剤の開発などに役に立てられたらと思います。参加頂いた技師会の皆さんお疲れ様でした。来年以降もこのチャリティーの主旨に賛同頂き多くの方に参加頂ける事を希望致しまして。リレー・フォー・ライフ・ジャパンの報告とさせていただきます。

支部長 紺野 芳男



命長寿を願うひまわりで、花結びとも言われ、結びの代表的な結びで、節祭の飾りにも使われます。
福島県臨床検査技師

